



## 今、私たちにできること3

～最初の週末、課題回収箱フル稼働～

5月10日（日）、本来であれば仙台国際ハーフマラソンが予定されていましたが、今年は大大会の中止が決まっています。私もこのところずっと外に出るのを自粛していましたが、午後時間ができたので、コースの一部を試走してみました。（マスク着用、前後の間隔は10m確保して）いつの間にか定禅寺通りのケヤキの緑も濃くなり、季節がゆっくりと春から初夏に向けて進んでいることを実感できました。



連休が明け、学校再開に向けて双方向での子供たちへの支援が本格化しました。

7日に学年主任者会を行い、今後の方針を確認し、早速8日から各ご家庭（子供）に電話で連絡をしていただきました。校長室に聞こえてくる先生方の声は、やはり子供と話すことで「先生の声」になっていて、優しく丁寧に対応する様子が伝わってきました。小野先生が「転入生のご家庭に連絡できて安心しました」とお話をされていたように、保護者や子供たちも先生方の声を聞いて、安心したことかと思えます。今週も、電話での連絡や課題の配付をお願いします。学校再開に向けて、忙しくなってくることと思いますが、どうかよろしくをお願いします。



今回、課題の回収に威力を發揮したのが「課題回収箱」です。安藤教頭先生に早速保護者あてのメールで書いていただいたように、回収箱には、初日からたくさんの封筒が届いていました。金曜日の夕方、まだ残っていた先生方と最後のポストの中身を確認すると、16:00過ぎには空っぽだったポストに20通近くの封筒が入っていました。また、この週末にもたくさんの課題が返却されていて、徳田教頭先生と安藤教頭先生が急遽、校舎内に長テーブルを準備し、学級ごとに整理していただきました。急なお願いにもかかわらず、子供たちの課題を届けていただいた保護者の皆様には本当に頭が下がる思いです。



また、渡辺優先生が、「運動カード」を作成し、今回の配付に間に合うように準備してくださいました。どうしても家も過ごすことが多いこの時期、適度な運動をすることは、ストレス解消、そして心身の健康維持のためにも必要なことなので、大いに推奨していきたいと思います。

ホームページでは、明日から先生方のメッセージを音声で紹介する予定になっています。校歌だけでなく、先生方の肉声子供たちに届くことによって、より学校生活への期待感を高めてくれるもの、と思われまます。

### 【お知らせ】

- ・学習支援員さんが今日と明日、児童館での仕事に応援で入っています。また、13日からも不定期ですが児童館の支援に入ってください。ただし、5月の最終週からは、本来の学校業務に戻っていただき、学校再開に向けてお力を借りる予定です。
- ・4月から一緒に勤務してきた越後谷椋先生が、仙台教育事務所管内の事情で小野小を退職することになりました。突然の出来事で、越後谷先生にはご迷惑をおかけすることとなりましたが、先生の今後のご活躍を心から御祈念申し上げます。（文責：手代木）